

⑩Int.Cl.
B 23 d
B 27 b

⑩日本分類
74 D 2
75 B 131

日 本 国 特 許 庁

⑩実用新案出願公告

昭45-31116

⑩実用新案公報

④公告 昭和45年(1970)11月28日

(全8頁)

1

④横型帯鋸盤における帯鋸伝動装置

④実 願 昭41-95460
④出 願 昭41(1966)10月14日
④考 案 者 出願人に同じ
④出 願 人 天田勇
東京都中野区東中野5の23の1
8
代 理 人 弁理士 三好保男

図面の簡単な説明

第1図は本考案を施した横型帯鋸盤の正面図、第2図はその側面図、第3図は本考案要部の一部断面にした側面図である。

考案の詳細な説明

従来の横型帯鋸盤における帯鋸の回動装置は、帯鋸の回動転輪にウォーム減速装置とVベルトを介した電動モーターを連結して構成されていたがそれらの部分は帯鋸とともに昇降されるものでその支持構成はきわめて不均衡であり、騒音の発生が著しくさらに密閉構成も不充分であり又変速のためにはVベルトの変速手段によつたので速度制御は困難であつた。

本考案はこれらの諸欠点を解消する帯鋸の回動装置の改良に係るものである。以下図面に示す実施例について説明する。

支持機枠Aの一端にボルト1およびナット2を介して貫孔3を有する主枠体Bの取付座4に着脱自在に設け、貫孔3内にベアリング5、5を介して軸6を内架し、主枠体Bの一側方に突出させた軸6端部にキー7を介して駆動転輪8を架着し駆動転輪8の周面に帯鋸9の添接面8'を形成して主枠体Bの他側方に軸6に連結したサイクロ減速機10を設けるとともに該減速機10を内装したケース11をボルト12を介して主枠体Bに取りつけ、ケース12にケース13、14を接着し、ケース14内にサイクロ減速機10に接続したカツプリング15と該カツプリング15に連結するカツプリング16を設け、カツプリング16と一体

2

に形成したプーリー17にベルト18を掛廻し、カツプリング16をケース14と一体に設けた油圧モーター19に連結し、ケース14に設けた軸受具20にプーリー21付の軸22を架設して、ケース14の孔23を貫通したVベルト18をプーリー17と21に掛廻し、軸22に連結した可撓軸24を速度計25に連結してある。なお図中、26は支持蓋、27はカバー28はオイルバンプ、29は回動転輪、30は駆動転輪8のカバーで、支持枠体Aに取りつけてあり、31は回動転輪29のカバーで、支持枠体Aの他端側に取りつけてある。32は油圧装置、33はベース、34は被切断物の取付台、35および36はガイドマストで回動転輪29および駆動転輪8を含むそれぞれの機体が昇降自在に設けてある。37は帯鋸9のガイド、38はカバー30と一体に設けたケースカバーである。

この様に本考案は、一対の回動転輪に掛廻した帯鋸を上下動自在にする横型帯鋸盤において、機枠に架着する主枠体に軸を回転自在に内架し、主枠体の一方側に位置して上記駆動転輪を軸に取りつけ、他方側に位置して軸にサイクロ減速機・油圧モーターを順次連絡するとともにこれらをケースに内装し、該ケースの一部から速度計への伝動取出装置を引きだしてなる帯鋸盤における帯鋸の回動装置に係るもので、主枠体に架設した軸杆の一方側に曲げとねじのかかる帯鋸を掛廻した回動転輪を取りつけ、主枠体の反対側にサイクロ減速機と油圧モーターを連結構成させることで、ウエイトならびに力のかかるバランスがとれ、又、Vベルト部分がないのでこれ等全ての伝導装置をケースに内装したので密閉効果が発揮され、防塵ができると共に騒音発生を防止する。次に油圧モーターを採用したからバルブ一つで無段変速による所望の速度変換が容易であり、従来の様に電動モーター及びVベルトならびにウォーム減速装置を設けたことに比して構成が簡潔となると共に、ケースから速度計への伝動取出しが容易となるのみならず上記構成によつて原価を大幅に引上げる効

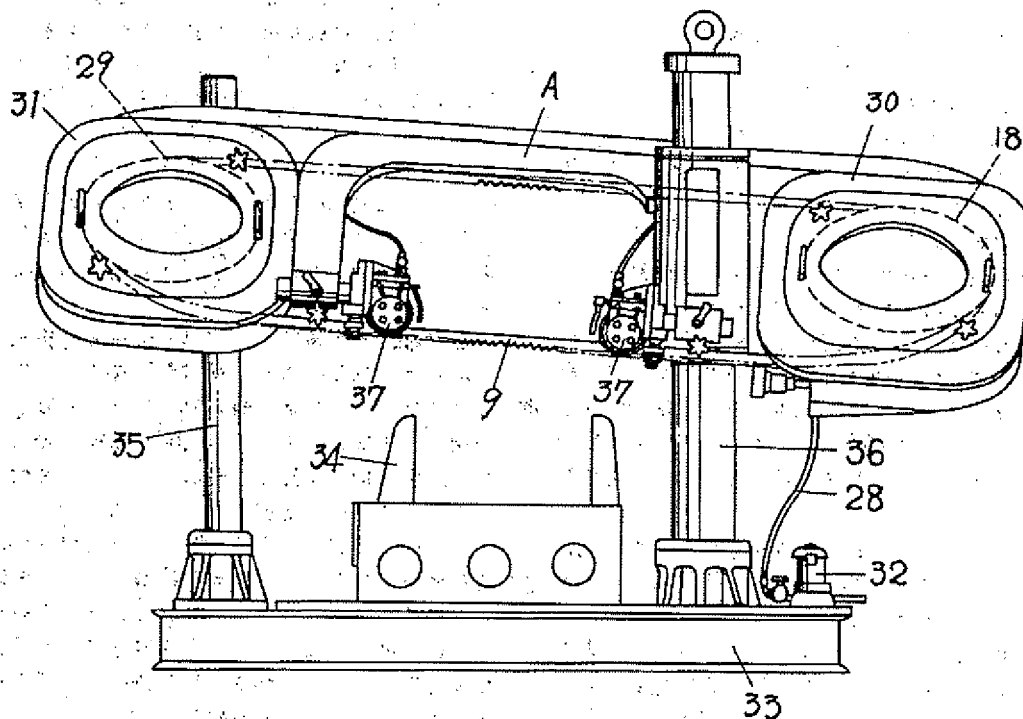
果がある。

実用新案登録請求の範囲

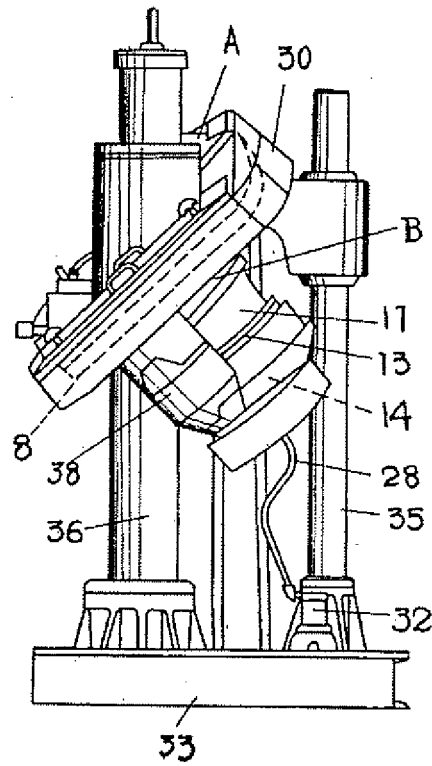
一対の回転軸に掛廻した帯鋸を上下動自在に
する横型帯鋸盤において、機枠に架着する主柱体
に軸を回転自在に内架し、主柱体の一方側に位置

して上記回転軸に取り付け、他方側に位置して
軸にサイクロ減速機・油圧モーターを順次連結す
るとともにこれらを全てケースに内装密閉し、該
ケースの一部から速度計への伝動取出装置を引き
だしてなる帯鋸盤における帯鋸の回転装置。

第1図



第2図



第 3 図

